

令和6年度 第3回 事業評価対象事業の一覧表

(事後評価)

資料No	事業種名	事業名	完了年度	事後評価理由	事業概要
3	河川事業	由良川床上浸水対策 特別緊急事業 (福知山地区)	R1	事業完了後 5年以内	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要：平成26年8月豪雨では、福知山地区で内水氾濫により床上浸水1,586戸、床下浸水1,712戸の甚大な被害が発生。本事業で既設排水機場の増強(+27m<sup>3</sup>/s)を行うことで、年超過確率1/30規模(平成26年8月型降雨波形)の降雨が発生した場合において、床上浸水被害を概ね防止。</li> <li>●事業化年度：平成27年度</li> <li>●完成供用：令和元年度</li> <li>●全体事業費：55億円</li> </ul>

No. 2-1  
 近畿地方整備局  
 事業評価監視委員会  
 (令和6年度 第3回)

令和6年度 第3回 事業評価対象事業の一覧表  
(再評価)

資料No	事業種名	事業名	前回評価年度	再評価理由	事業概要	審議区分
4	河川事業	由良川直轄河川改修事業	R3	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要：「由良川水系河川整備基本方針」で定めた目標に向け、上下流および本支川バランスを踏まえた段階的な整備を行い、昭和34年伊勢湾台風規模の降雨により発生する洪水に対して浸水被害の防止または軽減と、平成16年23号台風、平成25年18号台風、平成26年8月、平成29年21号台風、平成30年豪雨等、甚大な浸水被害が発生した地区の被害軽減を図る。</li> <li>●事業化年度：平成15年度（由良川水系河川整備計画：平成25年6月策定）</li> <li>●全体事業費：1,184億円</li> <li>●事業の進捗：約85%</li> <li>●今後の予定：無堤区間（由良・石浦地区、並松地区、高畑地区）の堤防整備、中下流部の河道掘削、岩沢堤の堤防強化、栗村井堰改築を実施する。</li> </ul>	重点
5	河川事業	紀の川総合水系環境整備事業	R4	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要：五條市二見地区において、豊かな水辺空間と景観を守りつつ、これらの地域資源を積極的に活かし、回遊性の高いネットワーク形成を図るため、まちを繋ぐかわ沿いの道（河川管理用通路）の整備等を実施する。また、和歌山市内河川の水質環境基準を達成させるため、紀の川から有本川への導水を継続するとともに、現在、環境基準が未達成である大門川への導水を実施する。</li> <li>●事業化年度：昭和54年度</li> <li>●全体事業費：104億円</li> <li>●事業の進捗：約73%</li> <li>●今後の予定：【水辺整備】令和6年8月に「二見地区かわまちづくり計画」が新規登録され、令和7年度に着手予定。 【水環境整備】事業の着実な進捗を図る。</li> </ul>	重点
6	道路事業	一般国道2号神戸西バイパス	R3	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要：一般国道2号の神戸市内から明石市内の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び物流の効率化支援を目的とした延長12.5kmの道路。</li> <li>●事業化年度：昭和63年度</li> <li>●全体事業費：2,250億円</li> <li>●事業の進捗：約71%（令和6年3月末）</li> <li>●今後の予定：早期の開通を目指す。</li> </ul>	重点
7	道路事業	一般国道8号野洲栗東バイパス	R1	④ ⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要：国道8号の野洲市小篠原から栗東市手原までの交通混雑の緩和、交通安全の確保、地域活性化の支援及び救急救命活動の支援を目的とした延長4.7kmの道路。</li> <li>●事業化年度：昭和57年度</li> <li>●全体事業費：約973億円</li> <li>●事業の進捗：約47%（令和6年3月末）</li> <li>●今後の予定：早期の開通を目指す。</li> </ul>	重点

[再評価理由]

- ①：事業採択後3年間に経過した時点で未着工の事業
- ②：事業採択後5年間に経過した時点で継続中の事業
- ③：準備・計画段階で3年間に経過している事業
- ④：再評価実施後5年間に経過している事業
- ⑤：社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業
- ⑥：道路事業・街路事業における一体評価を実施するため、再評価時期を前倒しする事業

No. 2-1  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
(令和6年度 第3回)

令和6年度 第3回 事業評価対象事業の一覧表

(再評価)

資料No	事業種名	事業名	前回評価年度	再評価理由	事業概要	審議区分
8	道路事業	一般国道42号 すさみ串本道路	R4	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要：一般国道42号すさみ串本道路（串本IC(仮称)～すさみ南IC）は、紀伊半島を一周する高規格道路として、南海トラフ地震等の災害時の交通確保、救急医療活動の支援及び広域周遊観光の支援を目的とした自動車専用道路。</li> <li>●事業化年度：平成26年度</li> <li>●全体事業費：約2,160億円</li> <li>●事業の進捗：約58%（令和6年3月末）</li> <li>●今後の予定：早期の開通を目指す。</li> </ul>	重点
		一般国道42号 串本太地道路		⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要：一般国道42号串本太地道路（太地IC(仮称)～串本IC(仮称)）は、紀伊半島を一周する高規格道路として、南海トラフ地震等の災害時の交通確保、救急医療活動の支援及び広域周遊観光の支援を目的とした自動車専用道路。</li> <li>●事業化年度：平成30年度</li> <li>●全体事業費：約1,030億円</li> <li>●事業の進捗：約7%（令和6年3月末）</li> <li>●今後の予定：早期の開通を目指す。</li> </ul>	
		一般国道42号 新宮道路		⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要：一般国道42号新宮道路（新宮北IC～新宮IC(仮称)）は、紀伊半島を一周する高規格道路として、南海トラフ地震等の災害時の交通確保、救急医療活動の支援及び広域周遊観光の支援を目的とした自動車専用道路。</li> <li>●事業化年度：平成31年度</li> <li>●全体事業費：約335億円</li> <li>●事業の進捗：約4%（令和6年3月末）</li> <li>●今後の予定：早期の開通を目指す。</li> </ul>	
		一般国道42号 新宮紀宝道路		⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要：一般国道42号新宮紀宝道路（紀宝IC～新宮北IC）は、紀伊半島を一周する高規格道路として、南海トラフ地震等の災害時の交通確保、救急医療活動の支援及び広域周遊観光の支援を目的とした自動車専用道路。</li> <li>●事業化年度：平成25年度</li> <li>●全体事業費：約500億円</li> <li>●事業の進捗：約91%（令和6年3月末）</li> <li>●今後の予定：令和6年12月7日開通</li> </ul>	
9	道路事業	一般国道2号・臨港道路 大阪湾岸道路西伸部 (六甲アイランド北～駒栄)	R5	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要：大阪湾岸道路は、神戸淡路鳴門自動車道の垂水JCTから関西国際空港線のりんくうJCTに至る延長約80kmの高規格道路であり、その内、一般国道2号大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）は、兵庫県神戸市東灘区から長田区に至る延長14.5kmの高規格道路である。</li> <li>●事業化年度：平成28年度</li> <li>●全体事業費：約6,740億円</li> <li>●事業の進捗：約11%（令和6年3月末）</li> <li>●今後の予定：早期の開通を目指す。</li> </ul>	重点
		一般国道43号 名神湾岸連絡線		⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要：一般国道43号名神湾岸連絡線は、名神高速道路の西宮ICから阪神高速5号湾岸線の西宮浜出入口に至る延長約3kmの高規格道路である。</li> <li>●事業化年度：令和3年度</li> <li>●全体事業費：約1,050億円</li> <li>●事業の進捗：約0.5%（令和6年3月末）</li> <li>●今後の予定：早期の開通を目指す。</li> </ul>	

[再評価理由]

- ①：事業採択後3年間に経過した時点で未着工の事業
- ②：事業採択後5年間に経過した時点で継続中の事業
- ③：準備・計画段階で3年間に経過している事業
- ④：再評価実施後5年間に経過している事業
- ⑤：社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業
- ⑥：道路事業・街路事業における一体評価を実施するため、再評価時期を前倒しする事業

No. 2-1  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
(令和6年度 第3回)

# 事業評価対象事業の位置図

※赤字:再評価 青字:事後評価

